

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

支所名	祁答院支所	支所長名	東 陸奥雄
-----	-------	------	-------

支所の 経営資源	構成人員	計	職員	嘱託	計
			3 2 人	1 8 人	5 0 人

支所の使命 (組織の存在価値)	<p>祁答院支所の使命は、地域住民に質の高い行政サービスを提供する地域の総合窓口となることである。</p> <p>職員一人ひとりの意識改革及び本庁各部局との連携を密にする。</p> <p>市民に満足されるサービスを提供する。</p> <p>地域に密着した祁答院支所を目指す。</p>	組織目標像	<p>【支所の目標像】</p> <p>地区コミを核とした市民団体等との連携による地域活性化の促進</p> <p>迅速なサービスを心掛け、よく聴く、よく考える、すぐ動く</p> <p>支所内会議等による情報の共有化と業務の支援体制の確立</p>
--------------------	---	-------	---

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況 (年度中間)	年度末の達成状況
共生・協働の推進	地区コミ協会会長連絡会及びコミ主事研修会の定期的な開催	地区コミ協会会長連絡会を隔月(年 6 回)開催 コミ主事連絡会・研修会を毎月(年 1 2 回)開催	会長連絡会を 4 回開催。 合同会議を含め 6 回開催。	年 6 回開催 会長との合同会議を含め 1 3 回開催
安全安心な地域づくり	災害に強い地域づくり及び防災意識の向上	自主防災組織率 (75.0%) の向上及び防災訓練の実施 定期的な地域安全パトロールの実施 (毎週水曜日) 急傾斜地崩壊対策事業の実施 (中武地区)	自治会運営説明会で自主防災組織設立の啓発を行い、新たに 1 自治会で設立。設立済み自治会での防災訓練は実施されていないが、1 自治会で防火訓練を実施。 各グループ交替で管内のパトロールを 14 回実施。 入札予定 1 1 月予定	新たに 2 自治会で設立し、自主防災組織率は 82.1% となった。防災訓練は自治会総会と併せて実施したところがあった。 各グループ交替で管内のパトロールを 39 回実施 急傾斜地崩壊対策事業 (中武地区) で危険箇所への対策を行った。(L=30.0m 法面工 155 m ²) 3 月 8 日工事完成

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	<p>子供や高齢者が暮らしやすい美しいまちづくり</p>	<p>防災行政無線や支所広報紙による的確な広報の実施 交通安全教育の実施</p> <p>路傍花壇及び教育機関の花いっぱい運動の推進</p> <p>ゴミ分別，環境美化運動の推進</p> <p>学校等の教育現場での安全安心教育指導の強化</p>	<p>防災行政無線による広報を 38 回，支所広報紙を 8 回発行。 県警のさわやか号，ひまわり号による交通安全教育を 4 回実施。 メランポディウム，マリーゴールド及びハゲイトウを種まきから行い 6 月に 42 か所に配布。教育機関(学校)は学校主事を中心に取り組んでいる。 リサイクル推進員や環境美化推進員の研修会を開催し，管内 4 箇所でのゴミ減量キャンペーンや市内一斉のクリーン作戦を実施。 7 月に学校・地域の関係者約 30 名出席のもと，学校ごとの現状報告や夏休みの校外生活指導や安全対策について話し合った。</p>	<p>防災行政無線による広報を 84 回，支所広報紙を 1 6 回発行。 県警のさわやか号，ひまわり号による交通安全教育を 8 回実施。 秋はノースポール・キンセンカ・葉ボタンを 4 2 か所の路傍花壇に配布し，また学校でも年間を通じて花いっぱい運動に取り組んだ。 環境美化推進員研修会を 2 月 9 日に実施した。(1 2 名中 1 1 名出席)また，活動状況報告書で情報をいただき，地域の環境美化に努めた。 学期ごとに学校・地域の関係者で地域全体の会を開催し，学校ごとの報告や意見交換を行い，地域全体で子供を守るため校外補導も年 3 回実施した。</p>
	<p>安心な地域づくり</p>	<p>市道の道路改良事業の実施 (市道木原小牧線，菊地田線)</p>	<p>市道木原小牧線 1 2 月入札予定 菊地田線 1 0 月 2 1 日発注済</p>	<p>市道 2 路線の改良事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木原小牧線(L=129.9m W=5.0m) 3 月 3 0 日完成 ・菊地田線(L=112.48m W=5.0m) 2 月 1 9 日完成 <p>市道 1 路線の舗装事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭牟田池線(L=1240m W=6.5m) 3 月 1 6 日完成

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

スピーディで質の高いサービス提供	本庁及び各課の情報の共有化	毎週支所内会議の開催 毎月課長・グループ長合同会議の開催 毎月安全衛生委員会の開催	定期的に 24 回開催。 合同会議を 6 回開催して情報を共有。 定期的に 6 回開催。	定期的に 49 回開催 合同会議を 12 回開催して情報を共有 定期的に 12 回開催
	職員の意識改革・資質向上	サービス・マナーアップ職場研修会の実施	職員の健康管理のため、職場研修会を開催。	職員の健康管理のため、職場研修会を開催。10月7日 35人参加
観光の推進	各種イベントへの観光客誘致及び職員の積極的な参加・3イベント実施	蘭牟田池納涼花火大会の実施 8月7日(金) 毎年同日 蘭牟田池外輪山登山大会の実施 11月22日(日) 蘭牟田池梅マラソン大会の実施 2月28日(日)	実施済 観光客約1万人 職員全員参加 現在参加者募集中 11月29日(日)に変更 11月実行委員会開催予定 実行委員会にて概要決定	8月7日(金)実施 観光客 約1万人 職員全員参加 11月29日(日)実施 登山愛好家97名参加 2月28日(日)実施 642名参加
	いむた池愛好会設立による会員募集(現在会員25名)	蘭牟田池の原風景を後世に残すための各種取り組み	湧水による蘭牟田池埋木等除去のボランティア活動を実施 9月26日(土) 参加者34名	湧水による蘭牟田池埋木等除去作業(9/26・参加者34名)の実施のほか、年間活動計画に沿った活動を実施した。
	農家民泊及び日帰りグリーン・ツーリズムの推進と受入農家の拡大推進(現在11戸加入)	黒木浦特産米産地交流事業の推進(名山小と体験交流) 6月21日 田植交流会 10月11日 稲刈交流会 11月14日 収穫交流会 グリーン・ツーリズム受入 第1回 5/30~5/31 第2回 11/29~12/1 第3回 12/3(日帰り)	田植交流会(名山小学校) 参加者58名 6月21日 ・稲刈交流会(名山小学校) 参加者62名 10月11日 ・収穫交流会(名山小バザー会場) 祁答院地域から25名予定 受入れ状況(予定を含む) ・第1回加古川中学校 39名受入 ・第2回塔南高校 23名予定 ・第3回鳩ヶ谷高校 39名予定	名山小学校との交流 田植交流会 参加者58名, 6月21日 稲刈交流会 参加者62名, 10月11日 収穫交流会・インフルエンザ中止。 グリーン・ツーリズム受入 ・5/30~31 加古川中学校 39名 受入農家 13戸 ・11/11~12 塔南高校 22名 受入農家 8戸 ・11/30~12/1 鳩ヶ谷高校 39名 受入農家 13戸 新規登録農家が6件あった。

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	<p>蘭牟田池自然公園の自然環境保全の推進</p>	<p>ラムサール条約登録湿地帯とベッコウトンボの保護及び外来魚駆除の実施</p>	<p>8～9月が例年になく渇水のため、ベッコウトンボのヤゴの生息地点に消防局の協力を得て散水を実施。外来魚駆除は、市民団体の協力を得て実施。回収ボックス2箇所の投入状況は、ブラックバス124匹、ブルーギル7,331匹、合計7,455匹を駆除</p>	<p>15年ぶりの渇水の影響で外来魚の駆除は思うように進まず、10月以降はブラックバス2匹だけの実績であった。また、来年5月に計画されている全国トンボ市民サミットに向けて、ベッコウトンボ生息地保護のための看板(7か所)を設置した。</p>
	<p>黒木・大村・蘭牟田地区にある温泉活用</p>	<p>3地区の温泉利活用の推進</p>	<p>各施設の入湯客利用促進の推進</p>	<p>黒木温泉については、故障等により利用客に不便をかけたが、大村・蘭牟田地区の温泉については順調な利用がなされた。</p>
<p>農林水産業の振興</p>	<p>県営中山間地域総合整備事業による農業生産基盤及び農村環境基盤整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度完了予定 ・総額10億円 	<p>農業用排水施設の整備 圃場整備及び農道改良事業の推進</p>	<p>排水施設 宇ヶ石1号・2号 10月入札済 農道改良 灰原田線・浦山仁田線2路線10月入札済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迫畑農道 測量試験費 10月入札済 ・圃場整備 地蔵宇都団地 10月入札済 ・暗渠排水 茶円地区 12月入札予定 ・集落道 餅田集落道 用地費買収済 	<p>農業用排水施設整備 宇ヶ石1号堰・2号堰 1月19日工事完成 灰原田農道(L=670m W=4m) 浦山仁田農道(L=730m W=4m) 3月17日工事完成 迫畑農道(L=340m W=4m) 測量設計完了 圃場整備地蔵ヶ宇都団地(0.7ha)3月30日工事完成 暗渠排水茶円地区(0.55ha) 1月19日工事完成 餅田集落道(L=470m W=4.5m) 用地買収完了</p>
	<p>森林施業による搬出コスト削減(本年度で100%完了予定)</p>	<p>林道の整備(松木場線)</p>	<p>7月29日入札済 工期 平成21年8月4日 平成22年1月12日</p>	<p>林道松木場線整備 林道松木場線(L=370m W=4m) 12月7日工事完成</p>

支 所 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	<p>畜産の推進</p>	<p>畜産経営基盤整備による畜舎の整備及び畑地造成</p>	<p>1.大村地区 畜舎・畑地造成 1 0 月 2 6 日契約 2.轟地区 畑地造成 1 0 月 2 6 日契約 3.上手地区 畜舎・畑地造成 1 1 月契約予定</p>	<p>大村地区畜舎・畑地造成 畜舎 3 月 1 0 日完成 畑地造成 3 月 3 日完成 轟地区畑地造成 規模縮小 3 月 3 日完成 上手地区畜舎・畑地造成 事業延期</p>
<p>年度中間総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね予定通り進捗している。 ・自主防災組織率の向上及び防災訓練の実施が課題であり，下半期は自治会等への啓発に取り組みたい。 ・県営中山間地域総合整備事業による農業生産基盤整備を 2 1 年度に上手園田地区を予定していたが，相続登記の 1 0 0 % 承諾が得られず，2 2 年度への事業繰り延べとなった。今後平成 2 1 年 1 2 月末で 1 0 0 % の承諾及び同意を得られるよう園田地区換地委員会・県・土改連・支所一体となって推進していくこととしている。なお，他の事業については予定どおり進捗している。 			
<p>年度末総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の新規加入組織が 2 件あり，防災に対する認識が高まったものと思われる。 ・1 5 年ぶりの藺牟田池の大湧水に見舞われ，ベッコウトンボ生息保護及び新田地区への水利確保等それぞれの関係機関との連携を図りながら対策に努めた。(祁答院地域湧水対策協議会も設置された) ・安全衛生委員会においては，毎月開催し職員への健康等への意識・啓発啓を図った。 ・県営中山間総合整備事業園田地区圃場整備事業が一部相続者の同意が得られず，換地委員会や県，土改連との協議の結果，事業を中止することになった。平成 2 3 年度に予定されている計画変更において事業全体の見直しを行っていききたい。 ・市民からの要望等については，各課課内会議等を開催し要望解決に努めた。 ・花いっぱい運動に年間を通して地域内での取り組みができた。また支所周辺にも 1 基新規の路傍花壇が設置された。 ・産業建設課職員の死去により欠員が生じたが，グループ内での業務支援を行いながら，業務遂行を図った。 ・大村地区コミにおいては，1 1 台の青パトが配置され地域内の防犯・交通安全指導等啓蒙・啓発に大きな支援になるものと期待したい。 			